

まちづくり通信



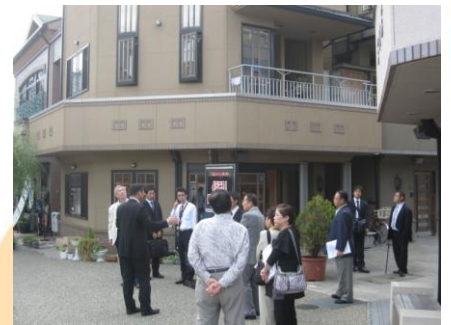
第8号

平成24年10月発行

～三郷駅前周辺整備検討会～

◎先進地の視察を行いました！

去る10月2日（火）に、まちづくりの先進事例である滋賀県彦根市の「四番町スクエア」の視察を行いました。



◎四番町スクエアの状況

国宝彦根城のすぐ南に位置する「四番町スクエア」は、面積が三郷地区とほぼ同じで、以前は「近隣市町村の台所」として、県内で最も賑わった商店街の一つでしたが、時代の流れとともに空洞化が進み、シャッター通りとなっていました。

そうした中、「このままではゴーストタウンになってしまう」という強い危機感を抱いた若手店主の方たちが「会」を結成し、行政に頼らず、自分たちの力だけで地域を再生しようと活動が始まりました。

資金的には大変厳しい状況であったようですが、さまざまな知恵と工夫を凝らして、極力地元の負担が少なくすむように事業を進めた結果、地域住民だけでなく、数多くの観光客も訪れる地域へと生まれ変わりました。

●整備前



●整備後



◎視察の結果

当日説明をしていただいた地元の方からは、「まちを整備したらそれで終わり」ではなく、「それをいかに維持していくか」が重要であることや、まちづくりの主役は地域住民（地域は行政に甘えてはいけない）であり、まちづくりは行政の責務（行政は主役でないことに甘えてはいけない）であることなどといった、今後三郷駅前周辺でまちづくりを進めるうえでの大変参考となることを数多く教えていただきました。